

海國ニツボンは至る處ヨット・セーリングに適するに拘らず、未だ一般に普及せざるは、一に此れを誘導するものなく、二に大衆の關心淺きがためなり。自然美を感得し、同時に慣海性を養ひ得る此スポーツをして一部外人の獨占に委し、徒らに拱手羨望するは我等海國民の一大恥辱なりと信す。

茲に於て過去十數年來琵琶湖を根據地として、ヨットの普及並に國際的進出を目指して進み來れる吾等同志は、更に此等の目的を達成せしむるため日本ヨット俱樂部なるものを創設せり。

かくて我國ヨットの隆興と併せて、琵琶湖近代化の一助ともならば俱樂部設立の望みは足る。希くは絶大の支持あらん事を。

事業概説

- 一、ヨット及自動艇教本編輯設計及航海術研究
- 一、レース・講習會開催
- 一、建艇及艇庫・クラブ・ハウス建設
- 一、各地方に於る俱樂部設立促進
- 一、歐米諸國の俱樂部と通信
- 一、一九四〇年日本に於る萬國オリンピック出場準備

組織

會員 正會員、賛助會員、臨時會員とし詳細は部員規約参照

日本ヨット俱樂部

事務所

大津市中保町
電話一七〇番
京都市三條河原町東入
ツタヤ人形店方

艇庫

大津市尾花川町